

# ベラルーシ公開情報取りまとめ

(2020年3月17日～3月23日)

2020年3月25日

在ベラルーシ大使館

## 【主な出来事】

●ルカシェンコ大統領, 新型コロナウイルスの国内感染状況に関する会議出席(3/19)

●ルマス首相, ミシュスチン露首相と電話会談(3/21)

●リバコフ・ベラルーシ石油化学コンツェルンベルネフチェヒム会長, 製油所の原料調達に関する発言(3/21)

## 【ルカシェンコ大統領動静】

●シュヴェト・ベラルーシ国家司法鑑定委員会会長と会談(3/23)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・私は当国の司法鑑定の水準や, 国際的な科学捜査研究専門グループとの協力について関心がある。

・貴委員会は, ゼロの状態から創設された。これまでは, 司法鑑定の体系的な取り組みは整備されておらず, 機器も不足していた。我々はあらゆる犯罪に対する調査活動の水準の向上を課題とした。我々はそのシステムを構築できたであろうか。

シュヴェト会長の発言要旨は以下の通り。

・国家司法鑑定委員会設立から 7 年が経過した。ベラルーシの司法鑑定制度は, 独創的かつ独立しており, 旧ソ連地域で最も優れている。

(3/23 大統領府公式ホームページ)

●ベラルーシ製油所運営に関する会議出席(3/21)

会議には, ルマス首相, ナザロフ副首相, セルゲエンコ大統領府長官, ベルスキ大統領府副長官, ラフコフ国家安全保障会議書記, アンフィモフ国家統制委員会委員長, マケイ外務大臣が出席し, 原料購入, 製油所の稼働状況, 国内石油製品需要への対応について協議した。

(3/21 大統領府公式ホームページ)

●ベラルーシ科学製造企業 Adani 社, 訪問(3/20)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・Adani の CT 撮影装置は好評であり, 国内の病院は今後も使用を継続するだろう。

・Adani の新技術は, ベラルーシ企業の未来であり, 生産拡大に向けた同社のイニシアチブを支持する。

(3/20 大統領府公式ホームページ)

●新型コロナウイルスの国内感染状況に関する会議出席(3/19)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・我々は帰国困難となっている国民がベラルーシに無事帰国できるよう支援する。

・ウイルス自体より, パニックの方が脅威である。当国では, 海外旅行から帰国した人々を管理している。症状が見られる場合は, 臨床検査を行っている。陽性が判明した場合, 該当患者と接触した人々を検疫や医療観察をしている。

・学校閉鎖をする予定はない。保護者は, 子供の健康が心配であれば学校に通わせる必要は無い。

・消毒剤やマスク等の医療機器は十分にある。人工呼吸器は増産していく予定である。

・冬から春にかけて季節性感染症のリスクが高まる。最も危険なことは, 新型コロナウイルスやインフルエンザ等, 呼吸器関連のウイルスが結果として肺炎をもたらすことである。2019年1月～2月の肺炎による死者数は196名である一方, 今年は138名であった。

・現時点で, 新型コロナウイルスによる死者が(国内には)一人もいないことを強調する。

(3/19 大統領府公式ホームページ)

●2019年社会経済発展の総評と5カ年計画の結果に対する評価についての会合に出席(3/17)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・今年は5カ年計画の最終年である。国民の実質可

処分所得は6%上昇し、インフレ率は4.7%と低水準にある。金準備高は3分の1増加し、わずかながら対外債務を減少することができた。

・ベラルーシ経済の成長を妨げる根幹となる問題の除去に時間がかかりすぎている。ベラルーシ経済は、国外からの影響に耐え得るほどの安定度に到達していない。

・経済の伝統分野において目立った成果がない。製造分野がベラルーシGDPに占める割合は、IT分野の6倍超であるが、GDP成長率に占める割合は、IT分野と同じである。

(3/17 大統領府公式ホームページ)

## 【外交】

### ●ルマス首相、ミシュスチン露首相と電話会談(3/21)

両者は、両国政府が石油分野における協力に関する原則的合意に至ったことを確認した。また両者は、両国共同のオストロヴェツ原発建設案件の重要性を強調した。

(3/21 ベラパン通信)

### ●マケイ外務大臣、チャプトヴィチ・ポーランド外務大臣、ナイスキー・ポーランド戦略エネルギーインフラ担代表と電話会談。

三者は、新型コロナウイルス対策、貿易経済協力、エネルギー供給のプロジェクトに関して協議した。

(3/20 ベラパン通信)

### ●マケイ外務大臣、リンケビチュウス・リトアニア外務大臣と電話会談

両者は、新型コロナウイルス対策に関連するリトアニアからのベラルーシ国民の帰国、ベラルーシからのリトアニア国民の帰国に関する相互協力について協議した。また両者は、貨物輸送のための二国間輸送能力の増強の可能性についても議論した。

(3/20 ベラパン通信)

### ●マケイ外務大臣、リンケービッチ・ラトビア外務大臣と電話会談

両者は、二国間国境を通じた両国民の移動に関連した作業に取り組む国家組織の相互協力について協議した。

(3/20 ベラパン通信)

### ●マケイ外務大臣、ラヴロフ露外務大臣と電話会談。

両者は、新型コロナウイルス対策に関連するベラルーシ国民のロシア経由帰国、ロシア国民のベラルーシ経由帰国の保障について協議した。

(3/19 ベラパン通信)

## 経済

### ●リバコフ・ベラルーシ石油化学コンツェルンベルネフチェヒム会長、製油所の原料調達に関する発言

・来週(当館注:3月23日の週)、製油所の第2四半期原料計画を検討する必要がある。

・ロシアの石油サプライヤーからの多様な提案、他の供給元との調達作業の継続等が議論されてきた。

・これらは、製油所が国内市場への供給だけでなく、海外市場との契約履行のため安定的かつ効率的な活動を行うために必要となる。

(3/21 ベラパン通信)

### ●VTB銀行、ベラルーシルーブルの急落に関連し、決済カードでの外国為替取引を制限。

(3/19 ベラパン通信)

### ●2020年1月～2月のミンスク市内工業生産高、昨年同期対比1.8%増加。

(3/19 ベラパン通信)

### ●2020年1月～2月国内農業生産量、昨年同期対比6%増加

(3/18 ベラパン通信)

### ●2020年1月、ミンスク市内の不採算企業数、昨年同期対比減少

2020年1月ミンスク市内不採算企業数は353社と、昨年1月394社から減少した。一方で、2020年2月

1 日時点のミンスク市内企業の純利益総額は、2 億 8580 万ルーブルであり、昨年対比、27.1%減少した。  
(3/18 ベラパン通信)

**●スヴェトロゴルスク紙パルプ工場、中国向け硫酸漂白パルプ出荷を初めて鉄道で行う。**

同工場は、初の中国向け硫酸漂白パルプ 1000 トン (40 フィートコンテナ×41本) 鉄道輸送を行った。貨物は成都の購入者に直接運送される。

同工場広報部は、「初の鉄道輸送は、一帯一路のイニシアチブに沿ったベラルーシ鉄道の協力の下、達成された。鉄道輸送は、従来の海路輸送に比べメリットがあり、中国向けに生産物を輸送する上で最適な物流方法である。海路運送では輸送に 1.5~2 ヶ月要していたのに対し、鉄道輸送では 16 日で済む。また、海路運送では、港への輸送後に、有蓋コンテナに積替する必要がある、瑕疵発生リスクがある。鉄道輸送により、中国国内の物流費用を 35%削減できる。」と公表した。

(3/18 ベルタ通信)

**●2020 年 1 月のベラルーシ電力輸出額 975 万ドル、昨年同期対比 23.4%増加**

(3/17 ベラパン通信)

**●石油化学コンツェルンベルネフチェヒム、「サウジアラビアと石油調達交渉中である。」**

ベルネフチェヒム報道官の発言は以下の通り。

- ・サウジアラビアは、ベラルーシへの石油供給者となり得る。
- ・現時点では、アラビアンライト石油を 1 バレル 25 ドルで販売できるという声明のみであり、石油自体はない。つまり、誰もこの価格で取引登録を行っていない。
- ・4 月 1 日以降まで市場動向を待つ必要があり、現在は交渉を行い、取り組みの多様なバリエーションを検討している。

(3/17 ベラパン通信)

**●ベラルーシ、2020 年 1 月~2 月 GDP 成長率は、昨 (了)**

**年同期対比-0.6%。**

なお、2020 年 1 月単月度の GDP 成長率は-1.9%であった。

(3/16 ベラパン通信)